

水力電氣の得易いところが選ばれてゐる。

北海道にはわが國屈指の炭田地域があり、中でも石狩炭田は最も重要である。こゝには夕張・美唄・空知等の各炭田が並んでゐて、掘られた石炭は、鐵道で室蘭や小樽に運ばれ、そこから京濱や中部地方の諸港へ積み出される。又釧路炭田も著れてゐる。

以上のやうに、この地方は工業原料として、農・林・畜産物の産出が多く、これらに加工する工業が、それぞれの生産地域に興つてゐる。随つて工場分布が分散的である。各地の都市の發達も、この事情と關係の深いことはいふまでもない。

札幌や旭川をはじめ、多くの都市は、開拓當初、計画的に建設されたもので、いはゆる棋盤目型の整つた街路をもつてゐる。農耕地に於いても土地を整然と區劃して、開墾經營を便にしたところに、本道の特徴が認められる。

北海道の人口分布は、主な農業地や都市附近が比較的密であるほか、全體としてその密度は、わが國の他地方に比べて、まだ著しく小さい。すなはち北海道は

人口約百三十萬、その密度一平方キロ三十七人で、全國平均の五分の一、本州・四國・九州平均の六分の一にも達しない。さうして本州にあるやうな大都市も見られない。

この地方は土地利用にしても、天然資源の開發にしても、なほ多くの餘地を残してゐるから、交通の發達と生産に對する科學的研究によつて、經濟・文化の發展は、十分その將來を期待し得るのである。本地方の開拓の歴史と近年の急速な發展はこの期待を有力にする。

原住民のアィヌ人は約二萬八千を算する。かれらは遠い昔には、本州にも廣く分布してゐたことが、その遺物・遺蹟の發掘によつて知られる。今はわが國では殆ど本道だけに残り、主に日高・虻田地方に住み、狩獵のほか農業をも営んでゐる。

四 奥羽地方

奥羽地方はその位置が本州の北東部に當るところか

暫定 中等地理 二

文部省

文部省調査費爲刊行課寄贈

(中) ¥ 30

(51)

目 録

五 關東地方……………十八

六 中部地方……………二十三

ら、東北地方とも呼ばれる。



北海道の場合とちがつて、古來米作がよく行きわたるが國でも重要な米作地帯、殊に他地方への米の供給地となつてゐる。奥羽山脈の東側では、北上川及び阿武隈川の谷平野や仙臺平野、又西側では、會津・米澤・山形・新庄・横手等の諸盆地及び日本海沿岸の庄内・秋田・津輕平野等、いづれも水利がよく、昔から水田の耕作が盛んで、本地方の主な米産地である。藩政時代から各藩は灌漑の利を圖り、水運の便を開いて米の増産・輸送に意を用ひ、又この地方に特に多く起つた凶作による飢饉の對策に苦心した。殊に仙臺藩に於いて河川を改修し、運河を開いて米の輸送に利便を與へたことは有名で、石巻は仙臺米を海路江戸へ送り出す港として築えた。又庄内平野の米の集散地として築えた酒田には、多くの米倉が立ち並び、そこから日本海・瀬戸内海を通つて遠く大阪や江戸に運ばれた。

今では主に常磐線・東北線・奥羽線等の鐵道によつて、多く京濱方面へ送られてゐる。

奥羽地方はわが國の他地方に比べて、諸産業中、農業の占める地位が特に重要で、人口の割合に米の生産量が多いので、その主な移出地として、わが國全體の食糧補給の上から見て、その擔ふ役割はすことに大きいといはねばならない。

西の日本海沿岸は、冬季降雪のため、殆ど菓作は行なはれない。随つて米作に主力が注がれることになり、そのために並々ならぬ努力が拂はれる。真冬の間には積雪を利用して、機で堆肥を田に運び、四月になれば、雪どけの冷い水の中に苗代の準備を整へ、五月にはこの地方の稻成育期間が、西南日本の他地方に比べて短いからである。又一方、稻に對する氣候上の不利を克服するために、長い間に互つて、品種の改良と選定に苦心が續けられて來たのである。

雪の少い奥羽山脈の東側では、二毛作が可能であり、菓作としては主に大麥を作つてゐる。しかし、しばしば冷害による凶作に見舞はれ、殊にそれは陸奥東部平野方面に多いが、これは沿岸を寒流が流れてゐるのと、

昭和 21 年 6 月 10 日 印刷
昭和 21 年 6 月 14 日 發行
[昭和 21 年 6 月 14 日 文部省検査済]

著作権所有

APPROVED BY MINISTRY
OF EDUCATION
(DATE Jun. 10, 1946)

著 作 者
發 行 者

翻刻發行者

印 刷 者

文 部 省

東京都神田區岩本町三番地

中等學校教科書株式會社

代表者 加 野 正 吾

東京都牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

大日本印刷株式會社

代表者 佐久間長吉郎

稲の成育期間に寒冷な北東風が吹くことが多いからである。随つて臺地や丘陵地では、主に馬鈴薯・大豆・稗・粟等の畠作が行なはれ、開墾の進まない原野は、牧畜に利用されてゐる。これらの點では、北海道との類似が認められる。

りんごと櫻桃は、冷涼性氣候の地方を代表する果物ともいふべく、りんごの主産地は、北西部の津輕平野、櫻桃のそれは山形・福島の一盆地である。これらの平野や盆地では、河岸の砂地や砂礫の多い扇狀地が栽培地として選ばれてゐる。

南部の阿武隈川沿岸の谷や、會津・米澤・山形の諸盆地では、養蠶が盛んである。奥羽北部及び北海道では、氣候の關係で、養蠶は殆ど行なはれず、大體奥羽の中央がわが國養蠶地の北限となつてゐる。米澤・福島・鶴岡等は、絹織物業地として著れてゐる。

本地方の農村では、一般に長い冬を爐邊に過す生活から來た、いろ／＼な生活様式が見られる。家作りにしても服裝にしても寒さを防ぐ工夫がめぐらされてをり、雪に閉ぢこめられた家の中で、吟・筵・繩等の藁

製品、その他の副業的製作品が作られる。所々に産する漆器も、種々の細工物も、かうした雪の多い地方の家内工業として發達したものである。

牧馬は陸奥東部平野で盛んなほか、火山の裾野や起伏の比較的緩かな北上・阿武隈山脈の高原などで行なはれ、この地方は古來名馬の産地として知られてゐる。

奥羽地方の漁業は、寒暖二流に洗はれる三陸の海岸地帯で特に盛んである。北上山地が海に迫つてゐて、農耕地に恵まれないかはりに、リヤス式の海岸は漁港に適し、深く入りこんだ灣の奥には、各地に漁業の根據地が出來てゐて、中でも宮古・釜石等は有名である。又北の八戸や南の石巻・塩釜等は、遠洋漁業の根據地としても著れてゐる。

北海道に多い鱈・鮭等は、三陸附近でとれるが、鱈・鮭・鰯・いか等の暖水性のものが産額が多い。三陸地方は北海道方面よりも、京濱の消費地に近いことが輸送上有利である。これに對し、津輕半島や秋田方面の平坦な砂濱海岸は、漁港には不利である。この地方からは、北海道方面へ季節的に出稼するものが多い。

奥羽地方の北部は、林産・鑛産に於いて恵まれてゐる。林産では特に米代川流域の杉と津輕半島の羅漢柏が名高く、前者の杉林はわが國の三大美林の一つといはれ、能代をはじめ、河岸の各地には製材所がある。川によつて運ばれた木材は、能代港から建築用材として、多く京濱方面へ送られる。又北上山地にも森林がよく茂り、薪炭の産が多い。

小坂・尾去澤の銅、釜石附近の鐵、秋田の石油は、奥羽を代表する鑛産である。そのほか南東部の常磐炭田は、わが國でも主な炭田の一つである。

工業方面から見た本地方は、むしろ農村の家内工業式のものにその特色が現れてゐる。福島・山形兩縣に於ける製絲や織物業、弘前・若松その他、所々に産する漆器などはそのよい例で、又、農村の中心地に於ける農具類の製造なども同様である。

随つて都市の大部分は農村を背景とした商業・經濟の中心地として發達したもので、それも多くは城下町を兼ねたものである。

新興の工業都市として特に挙げられるのは郡山ぐら

ゐるもので、この點、又本邦の他地方と異なつてゐる。郡山は猪苗代湖の發電所に近く、又交通の要地で、石炭や原料の輸送のほか、積雪期に裏日本方面から勞力の供給を得易い便宜がある。

青森灣頭の青森は、わが國幹線鐵道の要點に當り、殊に本州と北海道との交通上重要であると共に、又漁港としても注目される。

奥羽第一の都市仙臺は、わが國でも著名の城下町として發達したところで、本地方の文化の中心である。盛岡・山形・秋田・福島等もかつての城下町で、現在縣政の中心地であることは、仙臺と同じである。このほか城下町の代表的なものとしては、弘前・米澤・若松・鶴岡等が挙げられる。

本地方の人口密度は、北海道を除けば本邦中最も小さく、關東地方の五分の一に過ぎない。さうしてその分布は、全體的に見て北へ行くほど稀薄となつてゐて、いはば中央日本と北海道との漸移地帯を示してゐる。全體的に見て、海岸平野・盆地及び河谷平野に特に多く集中してゐる傾向が著しく、本地方に於ける平野・

盆地の重要性をよく現してゐる。随つて本地方の人口密集地域は分散的で、この點隣接する關東地方などとは大分趣がちがつてゐる。

それ／＼の平野・盆地には、二つ或は二つの中心都市が発達してゐるが、それらは地方色の豊かな各地の文化の特色をよく代表してゐる。殊にわが國でも標式的な盆地の多いところとして、盆地に於ける地形・氣候・産業・交通・都邑等の相互關係がよく觀察される。

五 關東地方

中央日本の東部を占める關東地方は、東北日本との接合地域となつてをり、又、同時にわが國のちやうど中央部に當つてゐる。このことは帝都の所在地であることと相まつて、本地方のもつ大きな地理的特性の一つである。

關東といふ語は關西に對して呼ばれたもので、その範圍は古來種々變遷してゐるが、近世から箱根・足柄兩關以東を指すことになつた。又昔から關八州とも呼

んで、他と區別されてゐる。それはこの地方が地勢的によくまとまつてゐて、おのづから他と異なる區域をなしてゐるからである。すなはち關東平野を中心に、北と西には高い山地をめぐらし、東と南は太平洋に面する本地方は、本州の諸地方中最も自然的境界が明瞭である。

又、本地方内部の地勢について見ても、一つのまとまつた形を示してをり、北部から西部にかけて連なる山地帯から、その麓に沿つた山麓地帯を経て、利根川・荒川等の流域にひろがる關東平野に移り變り、更にその南方には、丘陵性山地をなす房總・三浦の二半島があつて、土地がやゝ高まつてゐる。かうした地勢的變化は、産業の分布にも密接な關係をもつてゐる。

北部山地には那須火山帯に屬する諸火山もあつて、地勢が相當高峻で、利根川・那珂川等の本・支流の水源をなし、關東に於ける主な水力發電地帯となつてゐる。又この山地には足尾・日立の重要な鑛山があり、日立の北には奥羽に續く常磐炭田がある。北部山地は火山に伴なつて溫泉が多く、勝景に富んでゐる上、京

濱地方に近いので、觀光・休養の地としても著れてゐる。

西部山地の主體をなすのは關東山地で、この山地を切つて流れる相模川にも所々に發電所がある。又、山地の中央に發源する多摩川の水は、相模川の水と共に、それ／＼東京及び横濱の水道に引かれ、市民の生活に重要な關係をもつてゐる。荒川の上流にある秩父盆地は關東地方に於ける殆ど唯一の大きな盆地である。西部山地の南端に當る箱根火山は、日光の火山地域と共に、わが國でも有名な觀光地で、いづれも國立公園となつてゐる。

北部及び西部の山地から關東平野に移り行くところには、一帯の臺地が連なつてゐる。この山麓地帯のうち殊に西部は一面の桑畠で、わが國有數の養蠶地をなし、八王子・秩父・熊谷・富岡・高崎・前橋等、この臺地や周辺の都邑は、いづれも繭の集散地で、製絲業の中心地となつてゐる。随つてこの地帯には絹織物業も大いに發達し、八王子・秩父・伊勢崎・足利・桐生・結城等、多くの機業地があつて、それ／＼特有の絹織

物を産する。養蠶・製絲業地帯と絹織物業地帯とがよく一致してゐる點に、同じく養蠶・製絲で著れた長野縣や、北陸の絹織物業地帯とちがつた特色を示してゐる。

この山麓地帯は一般に砂礫の多い扇狀地や、火山の灰砂におほはれた臺地で、灌漑の便に乏しく、水田の開發が困難なために、廣く桑畠に利用されるやうになつたのである。

近年は、この地域一帯に絹綿交織や人絹織物も盛んとなつてゐる。この地帯は多湿な北陸方面の絹機業地に比べて、氣温が乾燥してゐる點、やゝ不利である。随つて織機を半地下式の室に設けてゐる工場もある。しかし京濱の大需要地や、輸出港たる横浜に近いことが有利な條件となる。

北部の山麓では、煙草・大麻・干瓢・陸稻等を産するが、畠地であると共に、夏の高湿と收穫期の乾燥がこれらの作物に適してゐる。

灌漑の便のよい河川沿岸の低地では、米作が盛んで、千葉・茨城・埼玉諸縣は、奥羽や北陸と共に、京濱地方への主要な食糧供給地となつてゐる。

各種の蔬菜類の栽培は、東京・横濱の近郊を中心に高度の土地利用によつて集約的に行なはれ、なほ氣候の溫暖な房總・三浦の二半島や湘南地方では、その促成栽培も盛んで、これらの地方に於ける草花や果樹の栽培と共に、大都市周辺地帯の特色ある園藝の發達を示すものである。

利根川の下流地方から江戸川沿岸にかけては、所々に醸造地がある。野田・銚子はわが國の主な醬油の產地であり、その他、佐原の清酒、土浦・石岡の清酒・醬油、流山の味噌などが挙げられる。この地方の醸造業の發達には、原料と水運の便に恵まれたほか、技術・傳統並びに氣候や水質などの關係も與つてゐる。

これらの醸造地附近の農村では、その搾り粕や甘藷などを利用して豚を飼ひ、その肉を京濱方面へ供給する。又、相模原附近一帯でも甘藷を飼料として養豚が行なはれてをり、鎌倉ハムは有名である。これらに對し、房總半島では乳牛の飼育が盛んで、鐵道によつて東京方面へ生乳を送るのである。伊豆七島でも、大島・三宅島・八丈島等、いづれも乳牛が多く、京濱への輸

送の關係で、主にバター・煉乳或は粉末として供給してゐる。

近海は黒潮のほか北東部に寒流も流れて來てゐるので、魚類が多く、且つ大消費地を控へて、漁業は盛んに行なはれる。漁港にはわが國屈指の三崎及び銚子があつて、それ／＼南部と東部の突出部に位してゐる。

又、房總半島にも勝浦をはじめ、各地に漁港があつて京濱への鮮魚の供給地となつてゐる。沖漁業による鰯・鯉・鰯等のほか、九十九里濱などを中心とする鰯・鰯等の漁獲も多い。なほ東京灣の淺瀬にはあさり・はまぐり等の貝類が多くとれ、又こゝでは海苔の養殖が盛んである。海苔の採取期である冬は、雨が少いのと季節風が海苔の乾燥に適する。

東京を中心に、川崎・横濱にかけては、わが國屈指の工業地帯をなし、これに伴なつて商業・貿易も大いに發達し、西の阪神地方と相對するわが國商工業の二大中心地である。

關東地方は土地が概ね平坦で、産業が發達し、人口も稠密であり、又、東京を中心とするわが國交通の要

地であるから、陸運・水運共によく整ひ、道路や鐵道網の密なことは全國第一である。

幹線鐵道は東京から放射狀に四方へ通じてをり、これらは昔の街道に沿つてゐるものが多い。主要街道が周囲の山地を越えるところには、かつて關所が設けられ、鐵道は附近をトンネルによつて通過してゐる。幹線鐵道とこれを補ふ多くの支線や長距離電車は、この地方の各地の都市を結んで複雑な交通網をつくつてをり、その焦點に東京がある。

東京は徳川時代を通じて幕府の所在地であり、參勤交代の制によつて全國の大名の集る城下町として榮えたところで、當時の江戸は、京阪の文化に對比される特有の文化を生んだ。明治以來、わが國の首府として、政治・教育・文化・交通等の中心となり、國內の産業や外國貿易が盛んとなるに従つて、商工業も大いに發展し、人口が年々増加して世界的大都市となつた。市街の膨脹もこれに伴ひ、一方では武蔵野の臺地面にひろがると共に、他方荒川下流の低地にのびて行つた。

宮城を中心とする丸の内一帯は、諸官廳や銀行・會

社等の集るいはゆるビルディング街で、これに隣接する京橋・日本橋・神田方面の下町は、商店街として、又、山手と呼ばれる臺地方面は、住宅區として發展した。さうして隅田川下流から川崎・横濱に至る東京灣沿岸の低地や埋立地に、工場の立ち並ぶ大工業地帯が出現した。京濱工業地帯と呼ばれ、わが國工業地帯の東端に當つてゐる。

海岸の低地が工業地區として選ばれたのは、人家が密集せず、廣い工場の敷地が得易く、又地價の安いことなどにも關係してゐるが、殊に大量の製品原料の輸送には、水運の利用が極めて重要であることによるのである。東京・横濱二港の港灣の活動と相まつて、沿岸の川筋や運河網が大きな輸送の役割をつとめるのである。

横濱は、西の神戸に對する東日本の關門で、それに大阪を加へたわが國三大貿易港の一つとなつてゐる。幕末までは丘陵をうしろに控へた小漁村に過ぎなかつたのが、東京の外港として急速な發展を遂げ、世界的な港市となつた。港は廣くて深く、諸設備がよく整つ

てゐる。後背地の關係から從來、わが國生絲の大部分を輸出する港として、又、絹織物・人絹織物等を輸出するところに特色を示した。横濱がこれまで、京濱工業地帯の門戸としての役目を果して來たことはいふまでもない。なほ京濱港の一部をなす東京港との連絡のために、海岸に沿つて京濱運河が建設中である。

東京の周邊地域には多くの都市が集つてゐることが目立つ。これらは交通の發達に伴つて、東京との關係が密接となり、東京通勤者の住宅地として、又、近時工業が發達して、いはば京濱工業地帯の延長といつたかたちで、人口も急に増加してゐる。すなはち東京の北方には川口・浦和・大宮・川越等、西方には立川・八王子等、東方には市川・松戸・船橋・千葉等がある。

關東地方に保養・遊覽地、或は觀光地の多いのも、京濱地方を控へてゐるからであることはいふまでもない。三浦半島から湘南地方にかけては、冬の避寒地となり、夏は海水浴場として賑はふ。横須賀は別として鎌倉・逗子・葉山・藤澤・平塚・大磯・小田原等はそれで、中でも鎌倉は史蹟に富む遊覽地としても名高く、

又小田原は箱根の登山口に當り、東海道線と連絡する登山電車の分岐點である。

同じく暖かな房總方面の海岸地帯にも、館山・勝浦・銚子をはじめ、さうした意味で京濱地方の人々の出かけるところが少くない。

これに對し、北部の火山地方が又、保養・觀光地帯であることは前にも述べた通りで、觀光地として特に有名な日光のほか、温泉地として知られたところが多く、那須・塩原・伊香保・草津等はその主なものである。又この山地には、近年スキー場として利用されるところも少くない。

京濱の周邊地域以外で、都市の多く分布してゐるところは、北部山麓の高崎・前橋・伊勢崎から宇都宮にかけての地帯である。そのうち、前橋・宇都宮は東部の水戸と共に、いづれもかつて城下町として發達し、今日縣政の中心地となつてゐるところである。

關東地方に於ける人口密度の高い地域も、概ね都市の多い地域と一致してゐる。すなはち京濱周邊を中心に、一方、東海道線に沿ふ地域と、他方、高崎線の沿

線から群馬・栃木兩縣に互る農業地を含む地域である。

六 中部地方

中部地方は、本州島のほぼ中央に當り、幅の最も廣い部分を占めてゐる。本地方は古來關東と關西の兩文化地帯を結ぶ地域としての特色をもち、しかも地勢や氣候などが複雑であるから、人文地理上のいろいろの事情も亦複雑である。

地勢の上から、日本海方面の北陸地方、太平洋方面の東海地方及びその間にある中央高地の三地區に大別することができ、これらは氣候的に見た區分ともよく一致し、同時に又人文的にも各地區の特色が明らかである。北陸地方は種々の點から、奥羽地方の西側と類似し、先づ裏日本式氣候であることに於いて、兩者は共通してゐるが、殊にこの地方はその特色が著しいのである。

信濃川下流の低湿な越後平野、富山灣沿岸の富山平野及び加賀平野・福井平野等は、水利がよく、この地

方の主な農業地域で、殊に米の産額が多く、わが國有数の米作地となつてゐる。

奥羽の西側と同様に、この地方は冬作が殆ど行なはれないので、米作に主力が注がれる。随つて人口に比較して米の生産高が多く、京濱・阪神等へ盛んに送り出される。昔は新潟や伏木などから船で積み出されたが、鐵道の便が開けた今日では、上越・信越・北陸・高山等の諸線を利用して、それ／＼大都市方面へ供給してゐる。

わが國でも最も雪の多い北陸地方では、深雪地にふさはしい／＼な地方色が見られる。越後平野の山麓地方の都邑や高田などでは、街路に沿つて軒先に廊木が設けられて、積雪時の交通を便にしてゐるが、雪に閉ざされた農村では専ら屋内で、農仕事その他の副業に従事する冬ごもりの生活が營まれる。

又北陸地方からの季節的出稼が多いのも、冬季に於ける農村の餘剩勞力から來た現象である。昔から越後人は關東その他へ季節的に出かけて、各種の職業に従事し、田植前の農繁期にはそれ／＼郷里へ引きあける

のである。近年は長野・群馬・福島等、近隣の繊維工場やその他の工場で働くものも少なくなつた。

富山平野ではこの種の出稼として、賣藥行商が昔から有名である。富山附近は賣藥製造の盛んなところで、この平野の人々は、秋の收穫が終わると藥をたづさへて、全国各地へ行商に出かける。又加賀平野や福井平野からは、距離の関係で京阪地方や名古屋方面へ季節的に移動するものが多い。

北陸地方の各地で営まれる織物業も、もとはこのやうな餘剩勞力を利用した農家の副業から發達したものが多く、それに濕氣に富むこの地方の氣候が機業に適するのである。

越後平野では、山麓地方一帯に各種の織物業が行なはれ、五泉・三條・小千谷・十日町等はその中心である。富山平野では、富山・高岡・伏木及びそれら附近の農村に、綿絲・綿織物・麻織物等の工場が多い。又羽二重・人絹工業は、大聖寺・小松・金澤を中心とした加賀平野、及び福井・大野を中心とした福井平野に盛んである。福井・加賀の二平野は、わが國に於いて、

となつてゐる。

特に岡谷はこれらの代表で、諏訪湖に臨み、わが國第一の製絲業地として知られてゐる。この地は養蠶地帯のほぼ中央に位してをり、水に恵まれてゐる上、各地からの繭の集散にも比較的便利な地點である。

一般に中央高地に於ける製絲業の發達は、その原料が近くに得られることが第一條件ではあるが、又この地方の乾燥氣候が繭の保存に適するのである。各盆地では早くから扇狀地の流水を利用した水車の動力によつて製絲が行なはれてゐた。從來輸出向の生絲は主として横濱から米國に送られた。絹織物業にはこの地方は好適でないので、北陸方面の機業地へ原料を供給するのである。

中央高地の諸盆地には鮎を飼料とする養鯉業が盛んで、殊に佐久平は著れてゐる。鐵道の開通以前、生魚に恵まれなかつた山間地方に發達した特殊の生業である。

又海に遠いこれらの山間盆地では、昔は塩の移入にも不便で、馬の背で高い峠を越えて運ばれた塩の取引

羽二重並びに人絹織物を最も多く産する地域となつてゐる。これらの機業地域では、その原料はすべて他地方から移入されるのである。近時北陸地方では、豊富な水力電氣の利用によつて、機業以外の諸工業が急速に發展した。

なほ本地方には輪島の漆器、金澤・小松等を中心とする九谷焼など、家内工業による名産がある。又鑛産物として、信濃川流域の石油及び佐渡の金は、いづれもわが國全體から見ても重要である。

漁業は能登半島と富山灣沿岸及び佐渡方面に盛んで、七尾・氷見・新湊・魚津・兩津等は主な漁港で、いか・鮎・鰻等の漁獲が多い。

中央高地の諸盆地や谷平野は、わが國で最も盛んな養蠶地域である。盆地底や谷底の水利の便のあるところには、水田が開かれてゐるが、扇狀地や河岸段丘は殆ど桑園となつてゐる。随つて關東地方の山麓地帯と同様に、農村の大部分は養蠶を副業とする。各地の都邑は繭の集散地で、又製絲業が盛んである。岡谷・須坂・上田・小諸・松本・甲府・飯田等は主な製絲業地

が特に重視されたところにも、一つの地方色がうかがはれる。

その他、この地方の山がちで海拔高度が高く、その間に盆地の多い地勢は、又種々の地理的特色を伴つてゐる。東北日本の代表的果實であるりんごが、善光寺平を中心に長野縣の各地で栽培され、又櫻桃も山梨縣や長野縣の所々に産する。甲府盆地では夏の高温とフェーン式の風が葡萄の成熟に適するので、勝沼や甲府附近などで、盛んに栽培され、葡萄酒の醸造も行なはれる。

諏訪湖や松原湖・野尻湖は、冬のスケート場となり、菅平や志賀高原・赤倉は主なスキー場として著れてゐる。夏涼しく空氣の乾燥した軽井澤は、有名な避暑地となり、上高地を中心とする北アルプスの高山地域は山岳美を楽しむ登山者が多く、いはばわが國のスイスともいふべきところである。

諏訪盆地の南端附近にある茅野は、寒天の製造地として知られてゐる。冬の乾燥した寒風が谷間に吹き入るのを利用して、煮つめたてんぐさを凍らすのである。

中央高地の山岳地帯には各地に森林が分布し、木材の産も多い。木曾谷の檜や天龍川沿岸の杉などは、殊に名高く、各地に輸送される。木材の輸送に、昔は大井・天龍・木曾等の諸川が盛んに利用された。今では一部に森林鐵道も敷設されてゐる。木曾谷の福島や飛騨高原の高山などは、木材の集散地である。

又急峻な山岳地を流れる川は水力發電に適し、信濃川・木曾川・黒部川・庄川等には、所々に發電所があり、これらの電力は京濱・名古屋・阪神方面へ送られると共に、最近では中央高地の諸盆地に興つた各工場に供給される。

東海地方は良好な氣候に恵まれ、古來、交通も便利なところであるから都市も多く、各種の産業が發達してゐる。濃尾平野をはじめ、各地の沖積平野は、主な農業地で、米作のほか、その裏作として麥類が栽培される。又濃尾平野及びその周辺は養蠶業も盛んである。

大井川下流を中心とする臺地や丘陵には、到るところ茶畠が開かれ、わが國の主要な茶産地となつてゐる。

の低濕地では金魚が飼育される。

富士山麓の富士宮・富士附近では洋紙の製造が行なはれる。昔は山麓の木材を原料とし、裾野の豊富な伏流水を製紙に利用したが、その後、北海道その他の木材を移入することによつて、洋紙工業が發達した。和紙の製造も亦、水に恵まれた岳麓や美濃の山間地方に盛んである。

林業では、天龍川・大井川の流域や天城山附近などに美林をもつ静岡縣が著れ、製材業も盛んである。又名古屋は木曾方面から切り出される木材の集散地である。なほ伊豆の山地では椎茸やわさびが栽培される。

東海地方は近代工業に於いて、わが國でも重要な地位を占めてゐる。濱松は綿織物その他の工業が盛んで、豊橋は製絲業の中心地である。一宮附近を中心に毛織物業が發達し、又岐阜・大垣方面にかけては綿絲や人絹工業なども行なはれる。

名古屋は、その周辺一帯と共に、京濱と阪神との中間に發達したいはゆる中京工業地帯をなし、わが國の一大工業地帯となつてゐる。綿絲・綿織物・毛織物等

附近には所々に製茶業が行なはれ、静岡はその中心である。

駿河灣沿岸の傾斜地では、特に蜜柑の栽培が盛んであり、静岡縣は茶と共に蜜柑の産額に於いて特に著れてゐる。同縣には甘藷の産も多く、又富士川下流附近では梨も栽培される。冬暖かな東海地方は蔬菜類の栽培にも恵まれ、殊に濃尾平野は、名古屋の近郊を中心としての栽培が發達してゐる。

愛知縣はわが國でも最も養蠶業の盛んなところとして知られ、殊に岡崎・安城附近はその中心で、多量の鵝卵を名古屋その他へ供給する。

このやうに、人口密度が大きく、多くの都市を控へてゐる東海地方の農業は、多角的に經營されてゐるところに特色がある。

この地方は漁業も亦盛んで、伊豆半島や駿河灣の沿岸には、その根據地があり、中でも焼津・清水・沼津は代表的な漁港である。漁獲物には鰹・鮪・鯖・鰯等が多く、鰹は焼津その他の陸揚げされ、鰹節に製造される。濱名湖ではうなぎの養殖が行なはれ、濃尾平野

の紡織業をはじめ、陶磁器・時計・樂器・藥品等、各種の製造業が興つた。

名古屋は東海道線・中央線・關西線等の主な鐵道の交叉する陸上交通の要地であると共に、伊勢海に臨む貿易港として海外航路の便も備はつてゐる。かやうに交通の便利な名古屋は、工業の發達と相まつて、商業に於いてもわが國の一大中心をなし、その商圏は位置の關係から、東京・大阪の中間地域を占めてゐる。

名古屋から瀬戸・多治見にかけては、わが國第一の製陶業地として著名で、附近に花崗岩の風化した良質の陶土が得られることが、その發達をうながしたのである。

中部地方に於ける人口密度は、商工業の發達した東海地方が最も大きく、農業の盛んな諸平野のある北陸地方がこれに次ぎ、山がちな中央高地が最も小さいが、善光寺平・松本平・諏訪盆地・伊那谷・甲府盆地等は、局部的な密集地域をなしてゐる。濃尾平野は最も稠密で、關東南部・大坂平野・北九州と共に、わが國での主な人口密集地域となつてゐる。

都市の分布も人口密度の分布と一致してゐて、東海地方に最も多く、東から沼津・清水・静岡・濱松・豊橋・岡崎・名古屋・岐阜・大垣等があり、いづれも東海道線に沿つて分布し、この地帯が關東と關西を繋ぐ廊下のやうな役目をもつてゐることをよく示してゐる。

中央高地では長野・松本・上田・飯田・甲府等、主な盆地や河谷平野にそれ／＼の中心都市が発達してゐることは、奥羽の諸盆地の場合と同様である。

北陸地方では、越後平野に最も多く分布し、新潟・三條・長岡・新發田・柏崎等があり、上越には高田・直江津がある。又富山平野の富山・高岡、加賀平野の金澤、福井平野の福井など、いづれも地方的中心として榮えてゐる。中でも金澤は北陸第一の都市で、有名な舊城下町にふさはしく、美術工藝の特産もある。港としては、新潟・伏木・敦賀等が著れてゐる。新潟は近時築港の完成によつて、日本海方面に於ける海運の要地となり、又上越線による東京との連絡も便利であつて、北陸東部の商工業の中心地となつてゐる。